

地域の産業振興を支援し、さまざまな交流を促進する基盤づくり

技師 大久保 新

所属：喜多方建設事務所 企画調査課

採用：平成24年度

学生時代の専攻：工学部 土木工学科



■福島県職員を志望したきっかけ

大学進学にあたっては、産業の発展のためには安全・安心が確保された自然災害に強いインフラ整備が必要と考え、土木工学科を選択しました。在学中に東日本大震災を経験し、大学で学んだ知識を福島県の復興のために役立てたいと決意を固め、計画段階からまちづくりに携わることのできる福島県職員の土木部を志望しました。

■これまでの経歴

- 平成24年度～ 南会津建設事務所 河川砂防課（河川の護岸や砂防ダムの工事監督）
管理課（道路や河川の維持管理）
- 平成27年度～ 喜多方建設事務所 企画調査課（各種中長期計画の策定）

■現在の仕事内容

私が所属する企画調査課の業務は、地域団体と連携したまちづくり事業の実施、市町村や地域団体からの要望への対応、さらには事務所が行っている全ての事業予算の進行管理など多岐にわたります。

喜多方建設事務所管内には歴史、文化、自然、食べ物などの豊富な地域資源がありますが、こうした資源を活かすインフラ整備により地域産業への支援や、観光誘客を図るまちづくりを行うとともに、市町村への技術指導や情報提供など、市町村と連携した土木行政をすすめています。

また、住民の方々に土木関係の仕事を知っていただけるような広報活動も実施しています。



まちづくり事業で設置した展望台

■これまでの仕事で印象に残っていること

すべての現場での工事が印象に残っていますが、地域住民の方々に喜んでいただけるものを提供することは簡単ではないことを実感しました。河川工事では、住民の方々への事前説明会や、自然の地形を読み、調和のとれた調査・設計を進める中で、護岸の形状だけでなく、地域特性や多様な生物も配慮した最適な護岸、河川の整備を地域の声をお聞きしながら、仕事を進めることができました、現場が竣工した時はとても嬉しかったことを今でも覚えています。

■仕事の魅力・やりがい

「地域を活性化していくためには何をすべきなのか」を考えるとこから携わり、そして住民の方々や関係機関と連携し問題解決に取り組むことができます。そしてひとつの仕事をやり終えた後の達成感は何ものにも代えることはできません。また、有志団体として地元のイベントに積極的に参加し、地域

の方々と触れ合い、交流することで、地域への愛着を持つことが仕事のやりがいにつながると思います。

■未来の後輩へのメッセージ

震災から5年以上が経過し、福島県は「集中復興期間」から「復興・創生期間」へとステージが移りました。「新生ふくしま」の実現に向け、「ふくしまの復興」を実感しながら、自分の仕事の成果が後世も伝えていける仕事ができる土木部と一緒に福島県を盛り上げましょう！